

別紙標準様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	第7回 中学校給食検討委員会
開催日時	平成24年1月19日（木） 10時00分から12時00分まで
開催場所	市民会館 第1集会室
出席者	委員長：梅崎副市長 副委員：南部教育長 委員：村橋教育次長、大西理事兼財務部長、奥行政改革部長、長沢総務部長、小山都市整備部長、戸野谷公共施設部長、君家管理部長、奈良学校教育部長
欠席者	高井企画財政部長
案件名	1. 中学校給食実施手法について 2. その他
提出された資料等の名称	1. 実施手法の比較検討について 参考資料 1. 学校における食育について 2. 「中学校給食の導入に係る意向調査」の結果について
決定事項	<input type="checkbox"/> 実施手法の比較検討として、3つの手法について食育等の観点から検証し実施困難なものはないことを確認した。 <input type="checkbox"/> 今後のスケジュールを確認した。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第6条第6号に規定する非公開情報が含まれる事項について検討を行うため。
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	非公表 枚方市情報公開条例第6条第6号に規定する非公開情報が含まれる事項について検討を行う会議の会議録のため。
傍聴者の数	—————
所管部署（事務局）	管理部 学校給食課

審 議 内 容

総括

- 実施手法の比較検討として、3つの手法について食育等の観点から検証し実施困難なものはないことを確認した。
- 今後のスケジュールを確認した。

質疑応答

- 委員長 実施手法の比較検討表を基に、事務局からの捕足意見はあるか。
- 事務局 克服できないような課題はなく、どの方式も実施可能であると考えている。
- 委員 食育への対応で、栄養教諭の配置の違いで差が出るのか。また、中学校で食育の授業はしているのか。
- 事務局 残菜の量など影響がある。現在、中学校での食育は、社会科・理科・家庭科など教科全体の中で取り組んでいる。
- 委員 栄養教諭は中学校の規程のカリキュラムの中で食育をテーマとした授業をするのか。
- 事務局 府費の栄養教諭は先生として教えることができる。民間調理場活用方式では配置がなく、市の栄養士を配置し先生の補助をすることになる。
- 委員 災害時の活用だが、地域防災計画で位置づけされているのか。
- 事務局 教育委員会の所管事務は、避難所の開設・運営、物資の配送、炊き出しである。第4センターは、プロパンガスで貯水槽もあり、ライフラインが切れても炊き出しができる設備が整備されている。活用は今後の課題である。
- 委員長 残菜の課題だが、どういう根拠で中学校の方が多いと判断したのか。
- 事務局 他市に照会したところ、具体的に何%という数字はないが、小学校との比較では中学校の方が多という答えが多かった。
- 副委員長 中学校の共調に栄養教諭は配置されるのか。
- 事務局 配置基準に応じて配置される。
- 委員 それぞれの委託・直営の経費も入れて、トータルで決めていく時期にある。どれも可能では比較検討が進んでいかない。課題の数だけでは決められない問題もある。判断材料としては部分的であり、総合的な評価が出せる資料が必要である。
- 委員 中学校での食育がイメージできない。他市の例などで説明してもらいたい。
- 委員 今、十分に食育をやっているのなら次につながらない。足りないのなら給食を導入してこうという流れになる。入口の整理が必要ではないか。
- 委員 教科担当に栄養教諭が加わることで、食育に力を入れていける。充実していけると聞いている。
- 委員 栄養教諭は、現在、何人配置されているのか。
- 事務局 22人である。次回の委員会で栄養教諭の配置状況を提示する。
- 委員 全員喫食・民間調理場方式は、枚方ではできないのか。
- 事務局 検討の初期の段階で、10,000食規模では経費がかえって高くなるため、全員喫食では共同調理場食缶方式を残し、民間調理場方式は候補から外した。
- 委員 河内長野市、羽曳野市が選択制給食を採用した理由は聞いているか。
- 事務局 次回の委員会で報告する。
- 委員長 3月に府へ提出する実施計画書に必要な項目を確認したい。
- 事務局 検討経過、給食導入に向けたスケジュール、選択制の場合は喫食率等、食育の推進計画、就学援助導入の有無などである。
- 委員長 項目にはないが、事業費を出すには建設場所、施設規模の確定が必要ではないか。候補地について、どこまでの議論が必要か、報告する内容を確認しておくこと。

